

OKAMURA REPORT

第82期 中間報告書

2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日 証券コード：7994



「Contessa II (コンテッサ セコンダ)」

okamura

株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第82期中間報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、企業収益は底堅さを見せ、雇用環境も改善傾向にあるものの、英国のEU離脱問題による円高・株安による企業業績への悪影響、中国をはじめとする海外経済の減速懸念など、先行き不透明な状況は払拭されずに推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータル・ソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高111,708百万円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益5,106百万円（前年同四半期比11.6%増）、経常



代表取締役会長
中村喜久男



代表取締役社長
中村雅行

利益5,498百万円（前年同四半期比8.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,817百万円（前年同四半期比18.2%増）となり、売上高は横ばいながら高付加価値製品の提供や提案販売などにより粗利益率が向上し、増益となりました。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

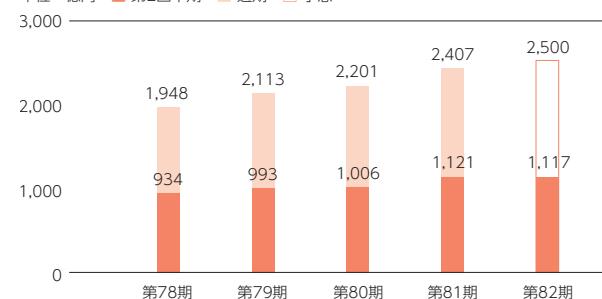
第2四半期連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

売上高

1,117億円（前年同四半期比0.4%減）

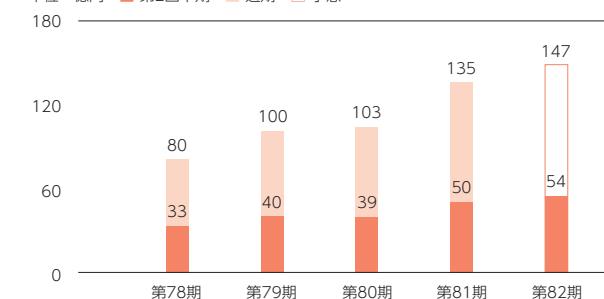
単位：億円 ■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



経常利益

54億円（前年同四半期比8.5%増）

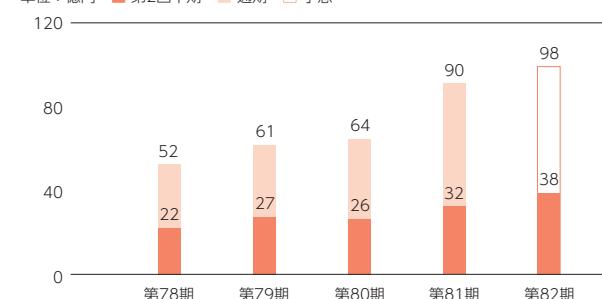
単位：億円 ■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

38億円（前年同四半期比18.2%増）

単位：億円 ■ 第2四半期 ■ 通期 □ 予想



売上高営業利益率

単位：億円 ■ 営業利益(通期) ● 売上高営業利益率 □ 予想



5月 ●「Intelligent Logistics」の創造を担うGROUND株式会社と資本業務提携を締結
●「自治体総合フェア2016」出展

6月 ●「NeoCon 2016」出展 TOPICS 1
●「2017年学習家具新製品発表会」開催
●「第29回 インターフェックス ジャパン」出展

7月 ●学習用チェア「mini MONOS (ミニモノス)」が第10回キッズデザイン賞を受賞
●「国際モダンホスピタルショウ2016」出展、有機EL照明ナースライト「LunaCare (ルナケア)」発表 TOPICS 2
●「OKAMURA Design Space R 第14回企画展」開催 TOPICS 3
●公共施設向け椅子総合メーカー Figueras International Seating (フィゲラスインターナショナルシーティング) 社と業務提携

9月 ●「メゾン・エ・オブジェ・パリ」出展協力
●「JASIS 2016」出展
●「第5回金融機関店舗フェア」出展
●「第12回 国際物流総合展2016」出展 TOPICS 4

FIRST HALF TOPICS

TOPICS 1 北米最大級の商業インテリア展示会

「NeoCon 2016」出展

6月13日～15日の3日間、米国・シカゴにて開催された「NeoCon 2016」に、9回目の出展をしました。今年は「repiroue (日本名:pirouetto <ピルエット>)」「traverse (トラヴァース)」「muffle (マッフル)」「SW (日本名:Swift <スイフト>)」などをメインに展示。新たに張材などのサンプルを数多く展示したCMF*コーナーも設けました。写真共有SNS「インスタグラム (Instagram)」でのキャンペーン効果も相まって、連日多くの来場者でにぎわいました。



* CMF:サーフェイス (表面) を構成する3つの要素、Color (色)、Material (素材)、Finish (仕上げ) の頭文字



TOPICS 2 医療スタッフが快適に働ける空間づくりを提案

「国際モダンホスピタルショウ2016」出展

7月13日～15日、「国際モダンホスピタルショウ2016」に出展しました。病院における働きやすい場づくりをテーマに、ナースカートや点滴スタンド、診療材料収納システム、天板昇降タイプのナーステーブルなどを展示。働くスタッフの作業姿勢まで配慮した、安心して安全な「新しいスタッフステーション」の在り方をプレゼンテーションしました。また新製品として、有機EL照明を使用した夜間巡回用ナースライト「LunaCare (ルナケア)」を発表しました。



LunaCare (ルナケア) ブルー



TOPICS 3 「木のパーティション」を展示

「OKAMURA Design Space R (ODS-R) 第14回企画展」開催

「建築家と建築以外の領域の表現者との協働」をコンセプトに、年1回7月にガーデンコートショールームで開催しているODS-R。14回目となる今回は7月20日～8月5日に開催。企画建築家に西沢立衛氏を、協働者に構造エンジニアの金田充弘氏を迎え、厚さ2mmのヒノキ材を使った作品「木のパーティション」を展示しました。



Profile



建築家 西沢 立衛氏

1995年妹島和世と共にSANAA 設立。
1997年西沢立衛建築設計事務所設立。
主な建築作品: 金沢21世紀美術館*、十和田市現代美術館、豊島美術館など。
※はSANAAとして妹島和世との共同設計

Profile



構造エンジニア 金田 充弘氏

東京藝術大学美術学部建築科准教授。
主な構造設計担当作品: メゾン・エルメス (建築設計: Renzo Piano Building Workshop)、ぎふメディアコスモス (建築設計: 伊東豊雄建築設計事務所) など。

TOPICS 4

アジア最大規模の物流・ロジスティクス専門展示会

「第12回 国際物流総合展2016」出展

2年に一度開催されるアジア最大規模の物流・ロジスティクス専門展示会「第12回 国際物流総合展2016」に出展しました。今年は、9月13日～16日に開催。オカムラブースでは、「物流を変える ロボット新時代」をテーマに、生産から流通までさまざまなお客様のニーズに応える次世代の物流システムを展示しました。



事業別セグメントの概況

Performance Results by Segment

オフィス環境事業

Office Furniture



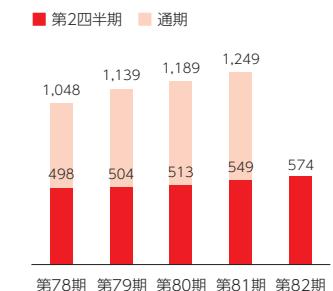
オフィス環境事業につきましては、都心を中心とした大規模オフィスビルの安定的な供給にとまない、オフィス需要は堅調に推移いたしました。このような状況のもと、オフィスでの働き方変革や健康への関心の高まりに対する新しいオフィス環境づくりを積極的に提案してまいりました。また、業績が好調な企業や医療施設、研究施設、学校、図書館や地方自治体等のオフィス周辺市場への積極的営業活動にも努め、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、57,410百万円(前年同四半期比4.4%増)、セグメント利益は、3,548百万円(前年同四半期比22.7%増)となりました。



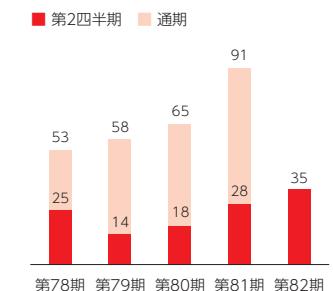
売上高

単位：億円



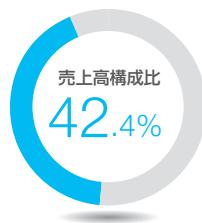
営業利益

単位：億円



商環境事業

Store Displays



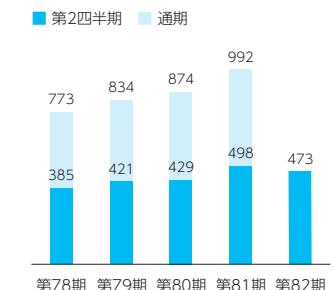
商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業界を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティー製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に注力してまいりました。しかし、小売業界の業態間競争、業界再編等による新規出店、既存店の改装需要の縮小、延期などの影響を受け、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、47,347百万円(前年同四半期比5.1%減)、セグメント利益は、1,682百万円(前年同四半期比14.3%減)となりました。



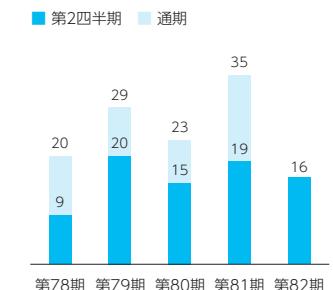
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



その他(物流機器事業他)

Material Handling Systems and Others



物流機器事業につきましては、食品、医薬、通販などの有力分野や自動倉庫の拡販に注力するとともに、他事業とのコラボレーションを強化し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めましたが、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高はわずかに減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は、6,951百万円(前年同四半期比3.7%減)、セグメント損失は、124百万円(前年同四半期は278百万円のセグメント損失)となりました。



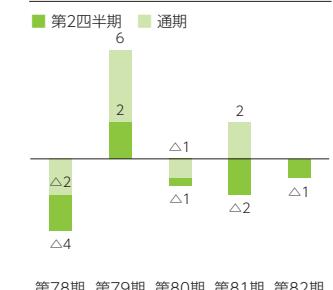
売上高

単位：億円



営業利益

単位：億円



連結財務諸表(要約)

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期 2016年9月30日現在	前期 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	103,929	115,032
現金及び預金	31,922	28,933
受取手形及び売掛金 1	52,195	66,318
商品及び製品	10,428	9,191
仕掛品	1,774	1,483
原材料及び貯蔵品	4,278	4,435
その他	3,330	4,668
固定資産	100,206	102,453
有形固定資産	51,199	51,350
建物及び構築物	14,676	14,897
土地	24,151	24,151
その他	12,371	12,301
無形固定資産	4,743	5,283
のれん	73	176
その他	4,670	5,107
投資その他の資産	44,263	45,819
投資有価証券 2	30,263	32,095
その他	14,000	13,723
資産合計	204,135	217,485

POINT

1 受取手形及び売掛金

前期末から14,123百万円減少し、52,195百万円となりました。

2 投資有価証券

時価評価の低下等により前期末から1,832百万円減少し、30,263百万円となりました。

科目	当第2四半期 2016年9月30日現在	前期 2016年3月31日現在
負債の部		
流動負債	61,146	69,425
支払手形及び買掛金	25,662	32,105
電子記録債務	14,299	15,892
短期借入金	6,919	6,066
1年内返済予定の長期借入金	1,606	2,341
その他	12,657	13,019
固定負債	34,394	39,569
社債	5,000	10,000
長期借入金	6,253	6,041
退職給付に係る負債	16,399	15,861
その他	6,742	7,666
負債合計	95,541	108,994
純資産の部		
株主資本	100,679	98,409
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,762	16,762
利益剰余金	67,665	65,392
自己株式	△2,419	△2,415
その他の包括利益累計額	7,413	9,587
非支配株主持分	502	494
純資産合計	108,594	108,491
負債純資産合計	204,135	217,485

3 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益5,524百万円、減価償却費2,516百万円及び売上債権の減少額14,123百万円等による増加と、賞与引当金の減少額1,359百万円、たな卸資産の増加額1,370百万円、仕入債務の減少額8,110百万円及び法人税等の支払額3,616百万円等による減少の結果、6,877百万円の資金増加となりました。

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	111,708	112,114
売上原価	76,660	79,041
売上総利益	35,048	33,072
販売費及び一般管理費	29,941	28,498
営業利益	5,106	4,574
営業外収益	981	745
営業外費用	589	250
経常利益	5,498	5,069
特別利益	25	1
特別損失	—	0
税金等調整前四半期純利益	5,524	5,071
法人税、住民税及び事業税	1,200	1,404
法人税等調整額	468	443
四半期純利益	3,855	3,222
非支配株主に帰属する 四半期純利益又は非支配株主に 帰属する四半期純損失(△)	37	△6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,817	3,229

4 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却及び償還による収入797百万円等による増加と、有形固定資産の取得1,857百万円及び投資有価証券の取得638百万円等による減少の結果、1,995百万円の支出となりました。

5 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の増加額902百万円による増加と、長期借入金の減少額499百万円及び配当金の支払額1,541百万円等による減少の結果、1,321百万円の支出となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 2016年4月1日から 2016年9月30日まで	前第2四半期 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー 3	6,877	9,767
投資活動による キャッシュ・フロー 4	△1,995	△2,815
財務活動による キャッシュ・フロー 5	△1,321	△909
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△407	24
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	3,152	6,067
現金及び現金同等物の 期首残高	27,547	22,808
現金及び現金同等物の 四半期末残高	30,700	28,875

配当金についての基本方針

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

配当金

中間12円
(年間24円)

単位：円

■ 中間

■ 期末

□ 予想



※ 第81期期末につきましては、創立70周年記念配当4円を含みます。



株式会社バンダイナムコエンターテインメント バンダイナムコ未来研究所 コミュニケーションとアソビを創出するオフィス

「アソビきれない毎日を。」を企業理念とし、ネットワークコンテンツの企画・開発・配信、家庭用ゲームソフトや業務用ゲーム機の企画・開発・販売などを行っている株式会社バンダイナムコエンターテインメント。その本社であるバンダイナムコ未来研究所が、2016年2月、港区芝（東京都）へ移転しました。8～12Fの執務エリアはフロアごとにテーマを設け、各階で雰囲気異なるフロアデザインを施しています。8Fが「BEACH」、9Fが「FARM」、10Fが「STREET」、11Fが「FOREST」、12Fが「CASA」。例えば8Fの「BEACH」は青をベースに、ヨットや海の家のような爽やかな設えを施すなどの工夫がなされています。

新しいオフィスでは「アソビの創出」に一層の拍車をかけたい、そのために、エンターテインメントを感じるオフィス空間であることはもちろん、何よりも社員同士のコミュニケー

ションを活性化したいという大きな目的がありました。それが自然にできるように、社員が自席のあるフロアにとどまらず、他のフロアを行き来できるようなユニークな仕掛けがあり、交流の機会が拡大するオフィスとなっています。

さらに、執務エリア内にはオープンなコミュニケーションエリアが設けられ、自席の近くで、いつでも迅速に打ち合わせを行うことができます。会議室を予約しなくても5～10分程度の会話ができることで業務効率が上がり、緊密なコミュニケーションが取れます。また、立ち会議テーブルやソロワークのできるスペースなど、さまざまな空間を使い分けることもできます。



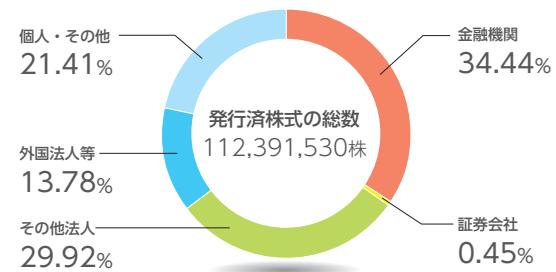
会社情報 (2016年9月30日現在)

Corporate Data

株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	5,355名

所有者別株式分布状況



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,213	8.35
オカムラグループ従業員持株会	6,420	5.82
三菱商事株式会社	6,300	5.71
明治安田生命保険相互会社	5,523	5.01
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
三井住友海上火災保険株式会社	5,295	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,805	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,449	4.03
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協会持株会	3,661	3.32

(注) 持株比率は、自己株式(2,064,322株)を控除して計算しております。

会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	3,029名

取締役及び監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役会長	中村 喜久男	
代表取締役社長	中村 雅行	
専務取締役	佐藤 潔	管理本部長
専務取締役	岩下 博樹	マーケティング本部長
専務取締役	菊池 繁治	オフィス営業本部長
常務取締役	岩田 寿一	ヘルスケア事業本部長
常務取締役	土志田 貞一	企画本部長
常務取締役	山本文雄	商環境事業本部長
取締役(社外)	西浦 完司	三菱商事(株)常務執行役員金属グループCEO
取締役(社外)	浅野 広視	トア再保険(株)取締役
取締役(社外)	飯塚 延幸	三菱地所(株)顧問、(株)東京交通会館代表取締役社長
取締役	小熊 誠次	デザイン本部長
取締役	金子 肇	海外営業本部長
取締役	山木 健一	生産本部長
取締役	井上 健	商環境事業本部東日本営業本部長
取締役	田尻 誠	物流システム事業本部長
取締役	牧野 博	テレコム営業本部長
取締役	酒徳 真司	商環境事業本部西日本営業本部長
取締役	河野 直木	オフィス営業本部首都圏営業本部長
監査役	守分 宣	
監査役	荒谷 克典	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岩本 繁	公認会計士

工場施設

追浜事業所

(神奈川県横須賀市)

富士事業所

(静岡県御殿場市)

㈱関西岡村製作所

(大阪府東大阪市)

鶴見事業所／シーダー(株)

(神奈川県横浜市鶴見区)

砂畑産業(株)

(東京都足立区)

つくば事業所

(茨城県つくば市)

御殿場事業所

(静岡県御殿場市)

㈱山陽オカムラ

(岡山県高梁市)

㈱富士精工本社

(石川県能美市)

杭州岡村伝動有限公司

(中国浙江省臨安市)

高島事業所

(山形県東置賜郡高島町)

中井事業所

(神奈川県足柄上郡中井町)

㈱エヌエスオカムラ

(岩手県釜石市)

Siam Okamura

Steel Co., Ltd.

(Bangyaprak, Phrapradaeng, Samutprakarn, Thailand)

東莞誠美家具有限公司

(中国広東省東莞市)

関係会社

㈱関西岡村製作所

(株)オカムラ物流

(株)オカムラ サポート アンド サービス

(株)エヌエスオカムラ

(株)山陽オカムラ

(株)エフエム・ソリューション

(株)ヒル・インターナショナル

シーダー(株)

(株)富士精工本社

セック(株)

(株)Td Japan

(株)オカムラ ビジネス サポート

砂畑産業(株)

Okamura International
(Singapore) Pte Ltd

上海岡村家具物流設備有限公司

Salotto (China) Limited

Siam Okamura Steel Co.,Ltd.

Siam Okamura International Co.,Ltd.

杭州岡村伝動有限公司

PT. Okamura Chitose Indonesia

(他14社 合計34社)

主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム (東京都千代田区紀尾井町)

オカムラ 仙台ショールーム (仙台市青葉区花京院)

オカムラ 名古屋ショールーム (名古屋市中村区名駅)

オカムラ 大阪ショールーム (大阪市北区大深町)

オカムラ 福岡ショールーム (福岡市博多区博多駅前)

オカムラVitra店舗用什器ショールーム (東京都千代田区内神田)

オカムラいすの博物館 (東京都千代田区永田町)

▶ インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。

オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ

検索

株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会

6月下旬

基準日

3月31日

公告掲載新聞

日本経済新聞

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同連絡先

〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

よい品は結局おトクです

オカムラ
株式会社 岡村製作所

〒220-0004

横浜市西区北幸二丁目7番18号

TEL : 045-319-3401 (代)

